

大学番号：私330

注3

[平成21年度設置]

計画の区分：学部の学科の設置

注1

届出

浜松学院大学 現代コミュニケーション学部  
地域共創学科

注2

## 【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 興誠学園  
平成24年5月1日現在

### 作成担当者

担当部局（課）名 浜松学院大学 教務課

職名・氏名 キョウムカチョウ ナワテツオ  
教務課長・名和哲夫

電話番号 053-450-7000

（夜間） 053-450-7000

F A X 053-450-7110

e-mail kyoumu@hgu.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は届出時の基本計画書の「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

届出時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には届出時の旧名称を記載し、その下欄に

( ) 書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部

(□□学部)

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」

・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」

・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」

・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」

・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」

「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

3 大学番号の欄については、平成24年3月12日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学 校 法 人 興 誠 学 園

## (2) 大学名

浜 松 学 院 大 学

## (3) 大学の位置

〒432-8012  
静岡県浜松市中区布橋三丁目2番3号

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。  
 ・ 様式は, 平成21年度開設の4年制の学科の場合(平成24年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の 名称(学位)	設置時の計画				備 考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
現代コミュニケーション 学部 地域共創学科	年 4	人 80	年次 人 —	人 320	(変更前人数 入学定員150 人、収容定員600人 変更年 月平成22年4月 (22)) (変更前人数 入学定員110 人、収容定員440人 変更年 月 平成23年4月 (23))
学士(現代コ ミュニケーショ ン)					

## 2 授業科目の概要

<現代コミュニケーション学部 地域共創学科>

### (1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手
基本教育科目	英語Ⅰ	1前	1			1 2	1 2			
	英語Ⅱ	1後	1			1 2	1 2			
	口語英語Ⅰ	1前		1					1	
	口語英語Ⅱ	1後		1					1	
	ポルトガル語Ⅰ	1前		1					1 +	
	ポルトガル語Ⅱ	1後		1					1 +	
	スペイン語Ⅰ	未開講 1前		1						
	スペイン語Ⅱ	未開講 1後		1						
	中国語Ⅰ	1前		1						
	中国語Ⅱ	1後		1						
	日本語表現法Ⅰ	1前	2							
	日本語表現法Ⅱ	1後	2							
	コンピュータリテラシⅠ	1前	1							
	コンピュータリテラシⅡ	1後	1							
	コンピュータリテラシⅢ	2前		1		1				
	生涯スポーツ演習	1通	2			1				
	生涯スポーツ実技	未開講 2通		2						
	スポーツボランティア入門	2・3前		2		1				
	野外スポーツ実習	1・2・3前		1		1				

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
基本 教育 科目	基礎演習	1通	4			3 <del>3</del> 5	1 <del>1</del> 3	3 4 2 1	1 1		
	基礎 教養 科目	文学	1・2・3前 1・2・3後		2						
		歴史学	1・2・3前		2						
		倫理学	1・2・3前		2						
		ジェンダー論	未開講 1・2・3後		2			1			
		法学入門	1・2・3前		2						
		憲法	1・2・3後		2						
		情報学概論 科学と環境	1・2・3後 1・2・3後		2 2		1				
	現代 社会 と 地 域 の 理 解	社会学概論	1・2・3後 1・2・3前		2			1			
		現代社会と心理学	1・2・3後		2			1	1		
		現代社会と経済	1・2・3後		2		1				
		現代社会と多文化社会	1・2・3後		2				1		
		現代社会における教育	1・2・3後		2				1	1	
		地域と外国人教育	1・2・3後		2		1	1			
		地域と政治・行政	1・2・3前		2						
地域と福祉		1・2・3前		2							
浜松地域の企業と産業		1・2・3前		2		1					
国際化とグローバル社会		1・2・3前		2		1					
	主題演習	2通	4			2 <del>3</del> 5	1 2 4	4 1 2			
専 門 教 育 科 目	専 門 ・ 導 入 科 目  コミュニケーション入門 心理学概論	1前		2				1			
		1後		2				1			

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門・基礎科目	地域共創論	1前	2			1					
	地域共創演習	1後		2		2 -2 +	-		2 + - +		
	メディア論	1後		2			1				
	コミュニケーション史	1前		2			1				
	日本の文化とコミュニケーション	1前		2			1				
	調査方法論	1前		2			+	1			
	専門教育科目	経営学	2前		2		1				
		経営管理論	2前 2後		2		+				
		経営組織論	2後		2		+				
		多文化コミュニケーション基礎	2前		2		1				
ことばと文化		2後		2							
比較文化論		2後		2		+	1				
浜松多文化事情		2前		2		1	+				
教育心理学		2前		2			1				
発達心理学		2後		2							
臨床心理学		2前 2後		2			1				

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置				
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手
専門・ 基幹科目	行動科学	2後 2前		2			1	1		
	統計学	2前		2			1	1		
	社会心理学	2前		2			1	1		
	産業・組織心理学	2前		2			1	1		
	職業心理学	未開講 2後		2			1	1		
専門教育科目	経営戦略論	3・4後		2		1				
	経営情報論	3・4前		2		1				
	マーケティング	2・3後		2		1	1			
	人的資源管理論	3前 3・4後		2			1	1		
	簿記論	2・3後		2		1				
	財務会計	3・4前		2						
	経営分析	3・4後		2		1				
	金融論	2・3後		2		1				
	地域ビジネス演習	2・3後		2		1	1			
	地域産業研究 I	2・3前		2		1	1			
地域産業研究 II	2・3後		2			1	1			

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手
専門・展開科目 専門教育科目	ビジネスワーク論	2・3前		2		1				
	ビジネス・コミュニケーション	2・3前		2		1				
	企業広報論	2・3後		2		1				
	地域の中小企業	3・4前		2		1				
	ベンチャー企業論	3・4後		2		1				
	NPO論	3・4後		2		1				
	国際ビジネス研究	3・4前		2		1				
	ネットビジネス論	3・4後		2		1				
	ビジネスプレゼンテーション	2・3前		2		1				
	ビジネス基礎知識	2・3前		2						
	ビジネスマナー	2・3後		2						
	民法	2・3前		2						
	商法	2・3後		3						
	地域づくりとスポーツ	3・4前		2		1				
	多文化社会と企業	3・4後		2						
	英語のしくみ	2・3前		2		1				
	英語表現法Ⅰ	2・3前		2		1				
	英語表現法Ⅱ	2・3後		2		1				
	英文講読Ⅰ	2・3前		2		1				
	英文講読Ⅱ	2・3後		2		1	1			
	英語コミュニケーションⅠ	2・3前		2						
	英語コミュニケーションⅡ	2・3後		2						
	英語コミュニケーション上級Ⅰ	3・4前		2						
	英語コミュニケーション上級Ⅱ	3・4後		2						
	資格英語Ⅰ	3・4前		2		1				
	資格英語Ⅱ	3・4後		2		1	1			
	ジャンル別英語演習Ⅰ	3・4前		2				1		
	ジャンル別英語演習Ⅱ	3・4後		2		1		1		
	英語学概論	2・3前		2		1				
	英米文学Ⅰ	2・3前		2		1	1			
英米文学Ⅱ	2・3後		2		1	1				
多文化体験実習	1後		2		1					



科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手
専門・ 専門教育科目 展開科目	ポルトガル語Ⅲ	2・3前		2				1		
	ポルトガル語Ⅳ	2・3後		2				1		
	国際協力論	3・4前		2						
	第二言語習得論	3・4前		2		1	+			
	日本文化論	3・4後		2						
	地域多文化実習	2後 3・4後		2		1	+			
	ラテンアメリカ文化	3・4前		2				1		
	対人コミュニケーション	2・3後		2			1	+		
	グループワーク(集団心理療法)	3・4後 2-3後		2			1			
	心理学研究法	2・3・4前 2-3前		2				1	+	
	心理統計法Ⅰ	2・3後		2				+	1	
	心理統計法Ⅱ	3・4前		2				1		
	心理学基礎実験	2・3後 2-3前		2				+	1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門・展開科目 専門教育科目	心理学実験	3前 2-3前 2-3後		2			1		+		
	性格心理学	2後 3-4前		2							
	認知心理学	3-4後 2-3後		2			+		+		
	心理検査法	3後 2-3後		2			1				
	人格診断法	3-4後		2			1				
	カウンセリング	2-3後		2			1				
	カウンセリング技法	3-4前		2			1				
	コミュニティ心理学	3-4前 2-3前		2			1				
	文化心理学	3-4後		2					1		
	消費者心理学	3-4後		2			1				

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置						
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育科目 展開科目	青年心理学	2前 <del>2-3前</del> <del>2-3後</del>		2								
	恋愛の心理学	3・4前		2								
	子どもと家族の心理学	3・4前		2								
	スポーツと人間形成	3・4後		2		1						
	文化人類学	3・4前		2			1					
	教育社会学	2・3後		2					1	+		
	職業指導	3・4後		2				+	+			
	精神保健	3・4前		2								
	障害児の心理	3・4後		2								
	老人の心理と介護	4前		2								
	子どもの心理	3・4前		2								
	子育て支援論	4前 未開講		2								
	乳幼児の発達心理	<del>3-4後</del>		2								
	子どもコミュニケーション	3・4後		2								
	子どもコミュニケーション技法	3・4前		2								
	キャリアデザインⅠ	1前		2			+		1			
	キャリアデザインⅡ	2後		2			+		1			
	キャリアデザインⅢ	3前		2			1					
	キャリアデザインⅣ	3後		2			1					
	ゼミナールⅠ	3通	4				5 5	3 4	2 2		+	
	ゼミナールⅡ	4通	4				6 5	2 4	1 2		+	
	卒業論文	4通		4			6 5	2 4	1 2		+	
	Web演習	2・3後		2			1					
インターンシップ	3前		2			2		1				

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門教育科目	日本語概論Ⅰ	2前 2前 1-2-3前		2							
	日本語概論Ⅱ	2前 2後 1-2-3前 1-2-3後		2							
	日本語文法	2前		2							
	日本語教授法Ⅰ	2・3・4前		2		1					
	日本語教授法Ⅱ	2・3・4後		2		1					
関連科目	年少者日本語教育	2前 2後		2							

- (注) ・ 届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。  
 ・ 届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載し、前年度報告時(平成23年度に届出された大学等は届出時)より変更されている修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。  
 なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま  
 ・ 「配当年次」について、届出時に開講時期を記載する必要がなかった学部等(平成1ついても、届出時の状況を黒字で記載してください。また、前年度報告時より修正がな修正をしてください。  
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても、「(1)授業科目表反映させてください。(ただし、「(3)未開講科目」欄には記載する必要はありません

(2) 授業科目数

届出時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
14	131	0	145	14	143	0	157	
				[ 0 ]	[ 12 ]	[ 0 ]	[ 12 ]	

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	なし					
2						
3						

- (注) ・届出時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。  
・履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。(ただし、未開講科目があった場合は、(1)「授業科目表」にその状況を反映させてください。)

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	ビジネスワーク論	2	2・3前	専門	選択	「ビジネスコミュニケーション」に名称を変更した。
2						
3						

- (注) ・届出時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

・未開講科目はない。  
・廃止科目は「ビジネスワーク論」の内容を見直し、「ビジネスコミュニケーション」に名称を変更したものである。

- (注) ・授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「届出時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{届出時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0.01}$$

- (注) ・小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

### 3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体 浜松学院大学短期大学部と共用  借用面積: 1,170㎡ 借用期間:20年 1,121㎡ 借用期間:30年  校舎敷地と別地 (徒歩60分、6km)  セミナーハウス校地売却 (22)			
	校舎敷地	0 ㎡	28,063 ㎡	0 ㎡	28,063 ㎡				
	運動場用地	0 ㎡	17,181 ㎡	0 ㎡	17,181 ㎡				
	小 計	0 ㎡	45,244 ㎡	0 ㎡	45,244 ㎡				
	そ の 他	0 ㎡	2,333 <del>2,893</del>	0 ㎡	2,333 <del>2,893</del>				
	合 計	0 ㎡	47,577 <del>48,137</del>	0 ㎡	47,577 <del>48,137</del>				
(2) 校 舎		専 用 0 ㎡ ( 0 ㎡)	共 用 19,011 <del>19,751</del> ㎡ ( 19,751㎡)	共用する他の 学校等の専用 0 ㎡ ( 0 ㎡)	計 19,011 <del>19,751</del> ㎡ ( 19,751 ㎡)	大学全体 浜松学院大学短期大学部と共用 3号館北校舎売却 (24)			
(3) 教 室 等	講 義 室	20 28室	演 習 室 40 36室	実験実習室 2 1室	情報処理学習施設 4 5室 (補助職員 1人)	語学学習施設 1 2室 (補助職員 1人)	用途による教室の見直し (22) 情報処理教室・語学教室 減 (23)		
	新設学部等の名称			室 数					
(4) 専任教員研究室	現代コミュニケーション学部 地域共創学科			16 19 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	大学全体  完成年度予定図書増 (23)  完成年度図書増 (24)	
	現代コミュニケーション学部 地域共創学科	112,274 [11,054] (116,089 [11,069]) <del>(114,894 [11,066])</del> <del>(113,611 [11,062])</del>	227 [62] ( 241 [62]) <del>( 237 [62])</del> <del>( 229 [62])</del>	— [ — ]	819 ( 898 ) <del>( 873 )</del> <del>( 863 )</del>	11,805	0		
	計	112,274 [11,054] (116,089 [11,069]) <del>(114,894 [11,066])</del> <del>(113,611 [11,062])</del>	227 [62] ( 241 [62]) <del>( 237 [62])</del> <del>( 229 [62])</del>	— [ — ]	819 ( 898 ) <del>( 873 )</del> <del>( 863 )</del>	11,805	0		
(6) 図 書 館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数				
	3,235 ㎡		210 席		240,000 冊				
(7) 体 育 館	面 積		体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要						
	2,511 ㎡		ト レ ー ニ ン グ ル ー ム 169㎡						
(8) 経 費 の 見 積 り 及 び 維 持 方 法 の 概 要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	「教員1人当たり研究費等」 「共同研究費等」「図書購 入費」及び「設備購入費」 の見直し(22) 同見直し、また、「リース 取引に関する会計処理」の 抜きの見直しによる (23)
		教員1人当たり研究費等	150 450千円	150 450千円	図書購入費	2,820 -4,000千円	3,000 2,500 -4,000千円	2,300 3,000 2,500 -4,000千円	
	共同研究費等	2,500 2,000千円	2,500 3,000千円	設備購入費	1,380 2,000千円	1,500 2,500 2,000千円	22,000 1,500 2,500 2,000千円		
	学生1人当たり 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
	学生納付金以外の維持方法の概要	資産運用収入、手数料収入、等による。							

- (注)・届出時の計画を設置届出書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。
- ・「(3) 教室等」「(5) 図書・設備」等について、届出時に数値を記載する必要がなかった学部等(平成20年度届出以前)については、届出時の数値の記載は不要ですが、平成24年5月1日現在の数値を赤字で記入してください。届出時に数値を記載した学部等(平成21年度届出以降)については、届出時の数値を黒字で記載いただき、平成24年5月1日現在の状況を赤字で見え消し修正してください。
  - ・運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・「(5) 図書・設備」については、上段に完成年度の予定の数値を、下段には平成24年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(22)」を「備考」に赤字で記入してください。
- なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。

#### 4 既設大学等の状況

大学の名称	浜松学院大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開年度	所在地	
現代コミュニケーション学部	年	人	年次人	人		倍			
現代コミュニケーション学科	4	—	—	—	学士（現代コミュニケーション）	—	平成16年度	静岡県浜松市中区布橋三丁目2番3号	平成21年4月1日より学生募集停止
子どもコミュニケーション学科	4	80	—	230	学士（現代コミュニケーション）	0.90	平成19年度	静岡県浜松市中区布橋三丁目2番3号	平成19年度に届出による設置 平成23年度に定員増50→80
大学の名称	浜松学院大学短期大学部								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開年度	所在地	
幼児教育科	2	140	—	280	短期大学士（幼児教育）	1.11	昭和42年度	静岡県浜松市中区住吉二丁目3番1号	平成20年度より幼児教育科第一部から学科名称変更

(注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者（学校法人等）が、既に設置している全ての大学の学部、学部の学科、短期大学の学科及び高等専門学校の学科について、大学、短期大学又は高等専門学校ごとに、平成24年5月1日現在の状況を記入してください。

（専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。）

- ・設置届出書の様式第2号（その1の1）に準じて作成してください。
- ・「定員超過率」には、過去標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで（小数点第3位を切り捨て）を、学科（短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程）単位で記入してください。なお、学生募集停止を行った学科（短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程）の記載は不要です。
- ・学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員と収容定員は「—」とし、「備考」に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。

## 6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設置計画履行状況 調 査 時 (22年1月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (23年2月)	現代コミュニケーション学部 地域共創学科の定員充足率が 0.7倍未満となっていることか ら、学生確保に努めるととも に、今後の定員の在り方につ いて検討すること。	今年度より110名から80名へと 入学定員減を行ったことも あって、入学定員充足率は今 年度は0.61となった。	志願者数は増加傾向にあり、 高大連携の強化、社会人入学 の促進等により、定員確保に 努める。
設置計画履行状況 調 査 時 (24年2月)	現代コミュニケーション学部 地域共創学科の定員充足率が 0.7倍未満となっていることか ら、学生確保に努めるととも に、入学定員の見直しにつ いて検討すること。	昨年度より入学定員減を 行ったところであるが、今年 度は昨年度より若干減少し。 入学定員充足率は0.56となっ た。	学科内容の改編、適切な入 学定員について、平成26年度 に向けて検討を行っている。

- (注) ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について、毎年度、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料を添付してください。
- ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況については、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
  - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。



## 7 その他全般的事項

<現代コミュニケーション学部 地域共創学科>

### (1) 設置計画変更事項等

認 可 時 の 計 画	変更内容・状況, 今後の見通しなど
	該当なし

- (注) ・ 1～6の項目により記入した事項以外で、届出時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 届出書の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

## (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

### ① 実施体制

#### a 委員会の設置状況

浜松学院大学FD委員会を設置している。

浜松学院大学FD 委員会規程（添付資料⑩参照）

（設置）

第1条 浜松学院大学の教育理念及び現代コミュニケーション学部の教育目標に基づき、教員が主体的に行う授業改善に資することを目的とし、教育方法の研究や工夫を積極的に推進するため、FD 委員会（教育改善委員会、以下「委員会」という）を置く。

（組織）

第2条 委員会は次に掲げる委員をもって組織する。

- (1) 学部長
- (2) 各学科長
- (3) 教育方法・研究部長
- (4) 教務部長
- (5) 学長が委嘱する専任教員

#### b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

平成21年度FD委員会 平成21年6月17日開催 出席者 籠、大野木、酒井、津村、岡部、緩利、鈴木、池端

平成22年度FD委員会 平成22年4月7日開催 出席者 籠、大野木、酒井、岡部、緩利、鈴木、池端

平成22年度FD委員会 平成22年7月7日開催 出席者 籠、大野木、酒井、岡部、緩利、鈴木、池端

平成23年度FD委員会 平成23年5月11日開催 出席者 籠、大野木、石田、岡部、櫻井、若尾、名和、宮之原、池端、鈴木

#### c 委員会の審議事項等

平成21年度FD委員会 授業評価アンケートの改善問題、平成21年度FD委員会の活動計画の確認

平成22年度FD委員会 授業評価アンケートの課題、平成22年度FD委員会の活動計画の確認、学内研修会について、（公開授業の実施、FD週間の設置と授業観察の義務化、授業観察における重点項目、単位の適正化、授業評価アンケートの実施と改善）

・FD週間の振り返り（レポート提出者の確認・未提出者への対応）、FD懇話会の開催（開催日7月28日（水）「FD週間の反省」）、授業アンケートの実施について

平成23年度FD委員会 授業評価アンケートの改正について（改正案の作成方針・実施上の留意点、変更点）

### ② 実施状況

#### a 実施内容

##### ・ 授業評価アンケート

毎年前期・後期実施 ゼミ等の科目を除き専任教員、非常勤講師すべての科目で実施し、その結果については、FD委員会で検討し、結果概要を大学ホームページに掲載している。

また、各担当教員に結果を報告、アンケート結果に対する担当教員からの授業改善の提案（担当教員による自己点検・評価報告書）を提出してもらい、学内ホームページに掲載し、学生が自由に閲覧できるようにしている。

##### ・ 教員相互の授業参観

前後期の開講時にFD委員会から各教員にアポイントメントなしでも授業参観が可能となるよう積極的な交流を継続的に行った。

##### ・ FD週間内は全ての科目を公開し、自由に観察できる。

FD週間に必ず2回、他の教員の授業を観察し、レポートを提出することを義務付けている。

##### ・ 新任教員のための研修会

新任教員のための研修会を開催している。

##### ・ 教員向け講習会・研修会の開催

平成23年度よりFD座談会（学生代表との授業内容・方法等の評価等の座談会）を開催している。

#### b 実施方法

・ 授業評価アンケート 前期・後期の授業終了2週間前から実施しているアンケート結果への担当教員のコメントと今後の授業への取り組み計画等を自己申告している。

・ 公開授業及びFD週間（6月、12月に実施）

・ 新任教員のための研修会 4月の辞令交付終了後、10時半から11時30分まで実施。

・ FD座談会は学生代表と教員代表（FD委員）との座談会である。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・ 授業評価アンケート すべての専任教員・非常勤に依頼。数名が未実施。
- ・ 教員相互の授業参観 現代コミュニケーション学科時の前年度は12月に実施。実施教員数5組10名
- ・ 新任教員のための研修会 本年度採用された専任教員5名がすべて参加した。
- ・ 平成22年6月2日「就職支援（キャリア・カウンセリング）」研修会、平成22年7月28日「FD談話会（FD週間の感想等）」、平成23年2月18日「就職支援（キャリア・カウンセリング）」研修会、平成23年3月9日「FD談話会（教育研究談話会）」

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・ 授業評価アンケートについては、アンケート結果への担当教員のコメントと今後の授業への取り組み計画等を自己申告し、結果と一緒にホームページ上に公開している。
- ・ 複数年度にわたって授業評価の結果が著しく悪い場合、FD推進委員会が当該教員の授業を視察する。当該教員は結果が良い教員の授業を三回参観し、レポートを提出することを義務付ける。FD座談会は、FD週間（教員相互の授業参観後）に科別に行っている。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。  
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

（3）自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

現代コミュニケーション学部地域共創学科は、浜松地域や静岡県西部地域における地域の「共創」という課題について、コミュニケーションを基礎にして教育・研究し、「共創」の実現を目指す学科であるが、現在、三年目を迎えたところであり、当初計画どおり授業科目、教育体制について進めているところである。

特に本学では、設置の趣旨の構想を高めるため、浜松地域が本学の教育研究のフィールドであるという点を明確に認識し、この「共創」というコンセプトを実現するために「地域共創センター」を設立し、具体的な活動を行っている。

② 自己点検・評価報告書

a 公表時期

- ・平成23年 4月 1日 （日本高等教育評価機構） 公表
- ・平成23年 5月20日 （浜松学院大学） 公表

b 公表方法

- ・日本高等教育評価機構のホームページ公開済み（平成23年4月）
- ・本学ホームページ上に公開（平成23年 5月20日公開）

③ 認証評価を受ける計画

- ・平成22年度大学機関別認証評価を財団法人日本高等教育評価機構の評価を受けた  
平成23年3月25日認定

認定期間：平成22年4月1日～平成29年3月31日

（注）・届出時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報提供に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

- a ホームページに公表の有無 (  有 ・  無 )
- b 公表予定時期 ( 平成 2 4 年 1 0 月 1 日 ) (今年度分の公表予定時期)
- c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置計画履行状況報告書」掲載ページへのリンク  
(  承諾する ・  承諾しない )
- d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス  
([http://www.hgu.ac.jp/univ\\_hp/annai/koukai.html](http://www.hgu.ac.jp/univ_hp/annai/koukai.html))

(注) ・ 「c」において「承諾する」場合、文部科学省のホームページにてリンク先を掲載しますので、大学等のトップページではなく直接リンクする先を「d」に記入してください。  
なお、「d」のリンク先のアドレスが未定の場合は、決まり次第、文部科学省高等教育局大学設置室あてに、メールにてご報告ください。

※大学設置室メールアドレス : [d-secchi@mext.go.jp](mailto:d-secchi@mext.go.jp)  
件名は「【調査係あて】AC報告書等HPリンク先(〇〇大学)」としてください。